

令和 7年 10月 20日  
企画部企画広報課  
(担当：山田)  
電話 043-227-4103**業況 DI は悪化。採算悪化や人手不足などが響く****コスト上昇分の価格転嫁交渉ができている企業は 5 割強にとどまる****健康経営の内容を知っている企業は 3 割だが、7 割強の企業がその実践に前向き**

## ～千葉商工会議所 景気動向調査（令和 7 年 8 月）～

千葉商工会議所では、会員情報ネットワークを活用して、地域の景気動向を四半期毎に調査しております。この度、令和 7 年 8 月調査の結果がまとまりましたので、ご案内申し上げます。

景況感を表す業況 DI（全産業）は、悪化しました。卸売業が採算の改善などから改善しましたが、小売業と製造業、サービス業が採算・売上の悪化から、建設業がコスト上昇と人手不足から、それぞれ悪化しました。先行きも、製造業が採算面の厳しさから、小売業が人手不足から、慎重な見方を示しています。

コスト上昇分の価格転嫁状況をみると、価格交渉が「できている」企業は前回 5 月調査から幾分減少し、5 割強になりました。転嫁度合いをみると、半数近くの企業がコスト上昇分の 7 割以上を転嫁できています。価格転嫁が十分にできていない主な理由は、引き続き「消費者の節約志向・低価格志向」「競合他社が販売価格を上げない」などですが、「取引先から据え置き・値下げ要求」を挙げる先が増加していることは気がかりです。

健康経営については、「内容を知っている」先が 3 割、「聞いたことがある」先が 4 割ですが、「いずれ実践したい」を含む健康経営に前向きな先は 7 割強を占めています。具体的な取り組みとしては、「健診・検診」「働き方改革の実践」が中心です。実践に向けた主な課題は「どのようなことをしたらよいかわからない」「ノウハウがない」であり、それを補う支援が必要とされています。なお、期待される効果としては、従業員の「健康意識」や「満足度」の高まりが挙がっています。

## 【調査概要】

- |            |                                          |
|------------|------------------------------------------|
| 1. 調査期間    | 令和 7 年 8 月 6 日(水) ～ 9 月 4 日(木)           |
| 2. 調査対象    | 千葉商工会議所法人会員事業所 500 社                     |
| 3. 回答数・回答率 | 342 社 68.4%                              |
| 4. 付帯調査テーマ | 「コスト上昇分の価格交渉(相談)、価格転嫁について」<br>「健康経営について」 |

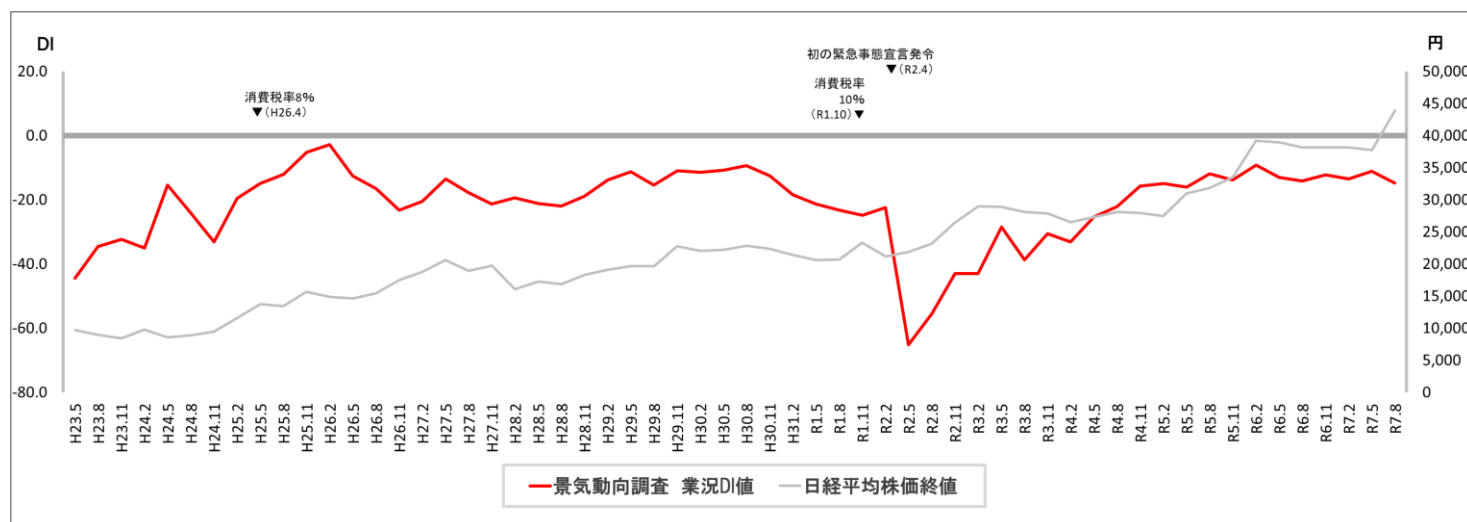
# 千葉商工会議所景気動向調査 (令和7年8月)

- 調査期間 令和7年8月6日(水)～9月4日(木)
- 調査対象 千葉商工会議所法人会員事業所 500社  
(建設・製造・卸売・小売・サービスの5業種、各100社)
- 回答数・回答率 342社 68.4%(建設71 製造76 卸売65 小売63 サービス67)
- 付帯調査 「コスト上昇分の価格交渉(相談)、価格転嫁について」  
「健康経営について」
- 調査結果のポイント

- 業況DI(全産業)は悪化。前回5月調査と比べると、卸売業が改善したが、小売業と製造業、サービス業が採算・売上の悪化から、建設業がコスト上昇と人手不足から、悪化した。先行きも、製造業が採算面の厳しさから、小売業が人手不足から、慎重な見方を示している。
- 価格交渉が「できている」企業の割合は、前回5月調査から幾分減少し5割強に。引き続き半数近くの企業がコスト上昇分の7割以上を転嫁できている。価格転嫁が十分にできていない主な理由は、依然「消費者の節約志向・低価格志向」「競合他社が販売価格を上げない」などだが、前回5月調査と比べて「取引先から据え置き・値下げ要求」を挙げる先が増加。
- 健康経営について「内容を知っている」が3割、「聞いたことがある」が4割。しかし、「いずれ実践したい」を含む健康経営に前向きな先は7割超。具体的な取り組みは「健診・検診」「働き方改革の実践」が中心。主な課題は「どのようなことをしたらよいかわからない」「ノウハウがない」であり、それを補う支援が必要とされている。

## 6. 全産業業況DI

### (1) 全産業業況DI値および日経平均株価推移

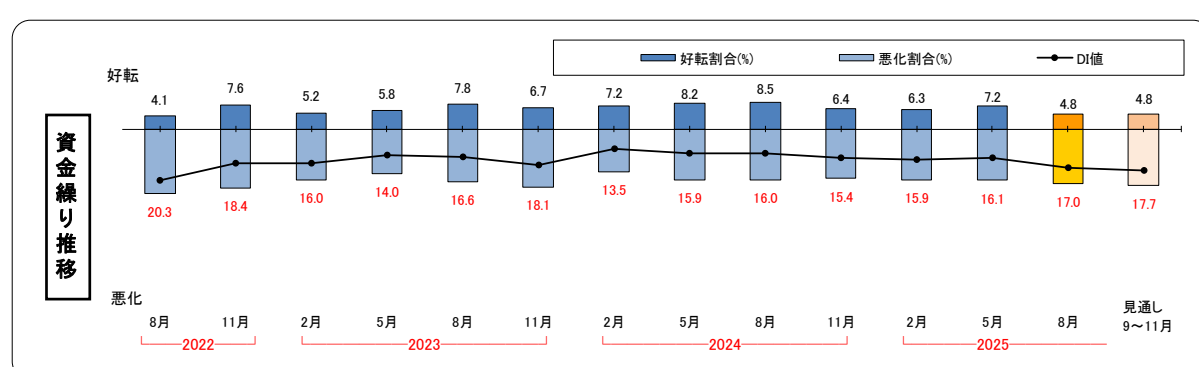
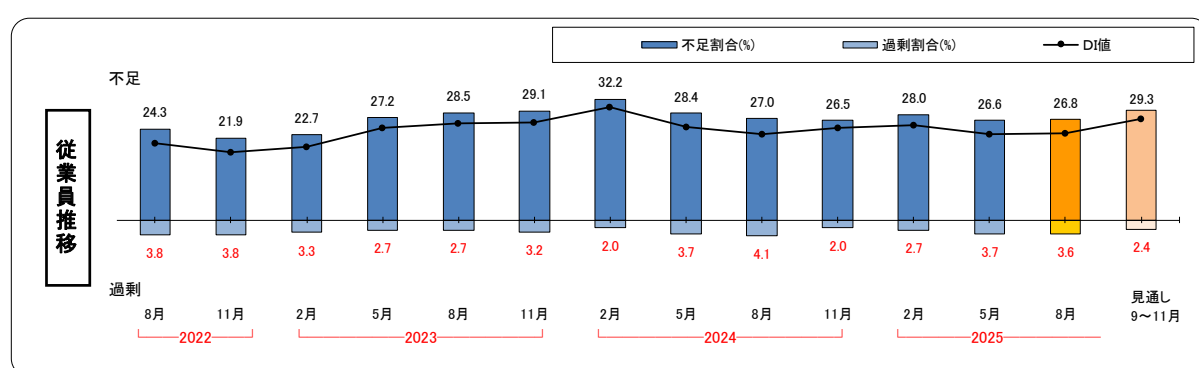
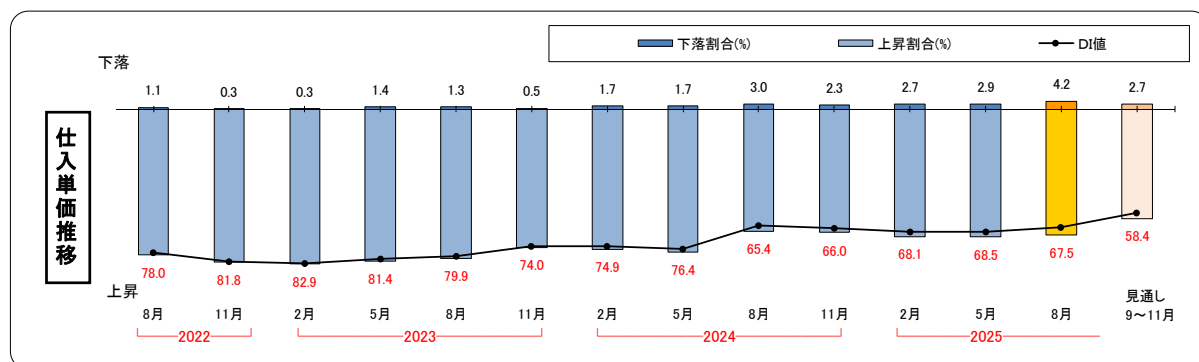
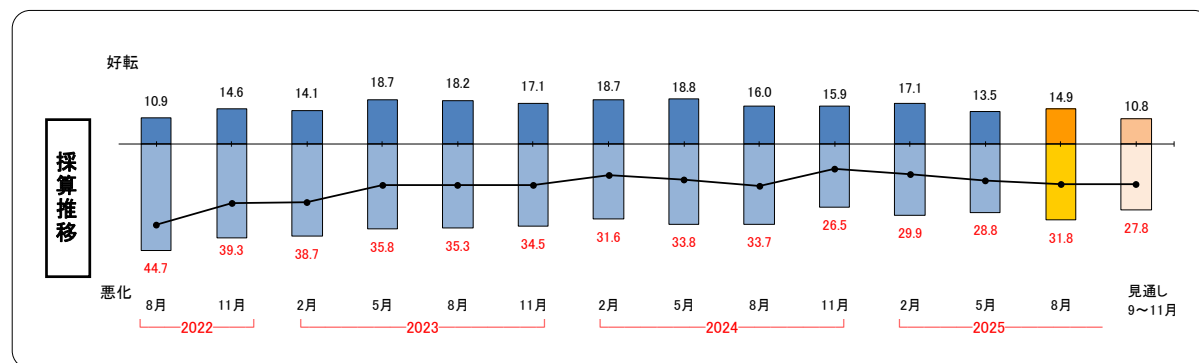
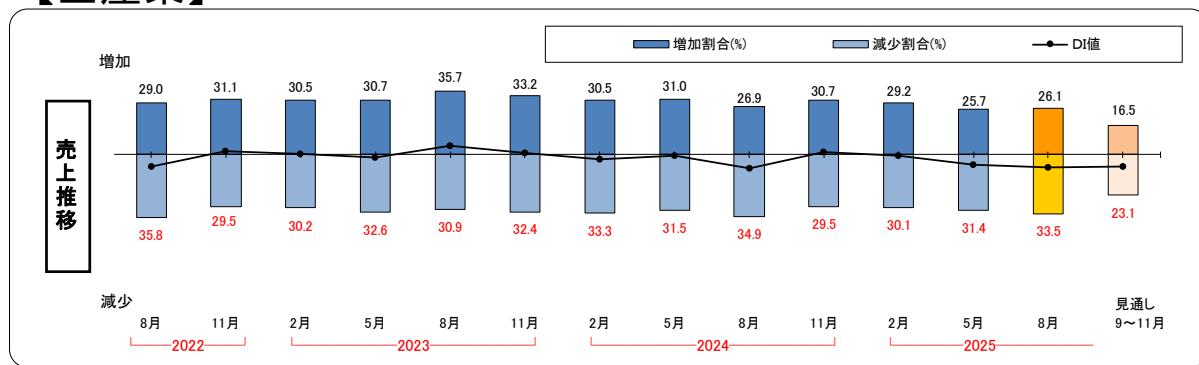


### (2) 全産業業況DI値

|                   | 全産業             | 建設業             | 製造業             | 卸売業              | 小売業              | サービス業          |
|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|----------------|
| 8月<br>(前回比較)      | ▲14.8<br>(-3.6) | ▲11.6<br>(-0.8) | ▲13.1<br>(-9.1) | ▲19.1<br>(+16.7) | ▲24.2<br>(-17.7) | ▲7.4<br>(-8.9) |
| 9～11月<br>(先行き見通し) | ▲15.8<br>(-1.0) | ▲8.6<br>(+3.0)  | ▲22.6<br>(-9.5) | ▲15.9<br>(+3.2)  | ▲25.8<br>(-1.6)  | ▲6.3<br>(+1.1) |

## 7. 各 DI 値の推移

### 【全産業】



## 8. 業種別の企業の声

### 建設業

---

- ・建設業の入札制度で健康経営を加点要素にすると普及が進むと思う。(総合工事業)
- ・健康経営の必要性は理解できる。年一度の健康診断を全員受診しているが、補助金、助成金、を設定するのなら検査項目を広げるとか、会社の受信料負担を少なくするとか、もっと底辺のレベルでの取組が望まれる。ネットの内容を見ても、中堅以上の企業を対象にしているとしか思えない。(土木建築工事業)
- ・少人数の建設業である。現場施工が始まると忙しく不規則な日々になるので「働き方改革」など、当てはまらないと感じる。やりがいのある仕事が、宝物となって各々を支えてくれていると思う。(内装工事業)
- ・健康経営は概念先行のように感じる。具体的効果が検証できない。下請工事業はその前段階のように感じる。(電気工事業)

### 製造業

---

- ・健康経営優良法人の継続認定を指標として行っている。更に、取り組むべき内容やレベル等当社規模における事例があると参考になる。(小麦粉製造業)
- ・「健康経営」についてはよく耳にするが、内容を見ても、必要性やメリットを感じられないというのが正直なところ。弊社が家族経営ということで事例を見てもイメージが湧いてこない。おそらく、弊社のような小規模事業者は多いと思うが、扱われている事例は従業員数が多いものなので小規模事業者向けのメリットや事例を教えてください。(オフセット印刷業)
- ・毎朝の体温チェック、定期健診の実施は続けている。コロナ化の状況で定着した良い習慣については継続中。個人情報取り扱い方にも触れる場合もある為、厳重な注意も必要と感じる。(医療用機械器具製造業)
- ・現代は老若男女問わず働いている人々が多いので、実績さえ上がるのであれば様々な働く時間、曜日などを会社が用意していくことが必要であると思う。例えば、週5日勤務にこだわらずに週2、3、4日の人がいても良いし、時間も午前中だけの人、午後だけの人、フルタイムの人がいても良いと思う。(看板・標識機製造業)

### 卸売業

---

- ・物価高騰で売り上げは減少している。最低賃金の引き上げ等の人件費の高騰により経営が厳しい状況が続いている。何か特に中小企業に対して景気対策が必要と考えている。千葉商工会議所からも国や千葉県、千葉市へ景気対策の要望をしていってほしい。(雑穀・豆類卸売業)
- ・最低賃金の引き上げには労働者の生活向上の観点から賛同するが、当社のような小規模事業者ではパート勤務時間を減らすなど影響が大きく、企業規模に応じた柔軟な制度運用を求める。(自動車部分品・付属品卸売業)
- ・社員の健康は重要なので続き意識していきたいがそれが生産性の向上につながっているとは実感できていない。現段階ではコスト増が先行しているので、今後の課題である。(他に分類されないその他の卸売業)

### 小売業

---

- ・減税や社会保険料引き下げなど少しでも消費者の懐が増えるような施策をして欲しい。(スポーツ用品小売業)
- ・健康経営に取り組めるようにしたいと思う。(各種食料品小売業)
- ・従業員を休ませても、経営者はどんな健康状態でも休みなく働くしかない。全ては会社を維持するため、売上が必要だ。(他に分類されないその他の小売業)

### サービス業

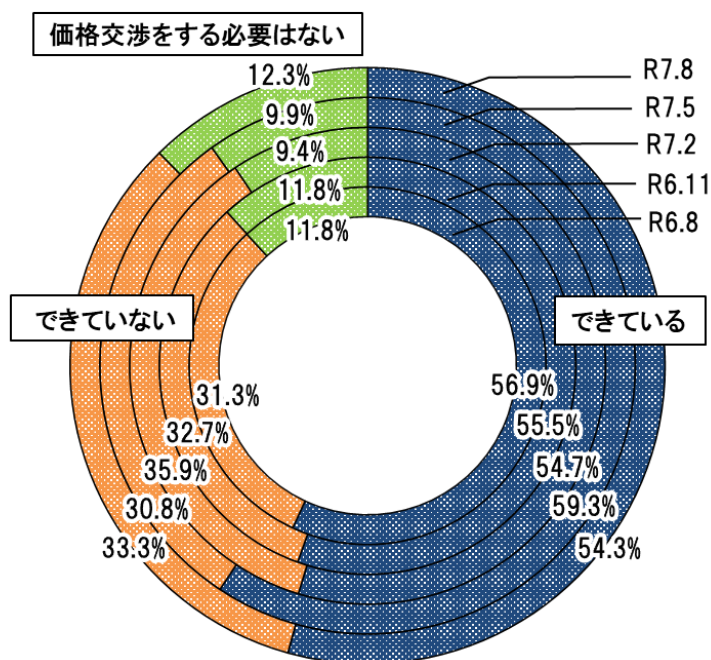
---

- ・例年にない酷暑の影響で水道光熱費が高騰している。日本から四季がなくなり亜熱帯の国になりつつある状況を踏まえて、国・県・市を挙げて温暖化対策の具体案を示すと共に補助金などの具体策を出してもらいたい。(ホテルは24時間お客様の要望に応じて客室を移動させなくてはならない)深夜だから消灯というわけにはいかない。(旅館・ホテル)
- ・法定福利費、税金が高すぎる。働き方改革も必要とは思いますが、経営が圧迫される様だと日本経済の先行きが危ぶまれる気がする。飲食業なので米不足と米価の高騰は影響大である。(専門料理店)

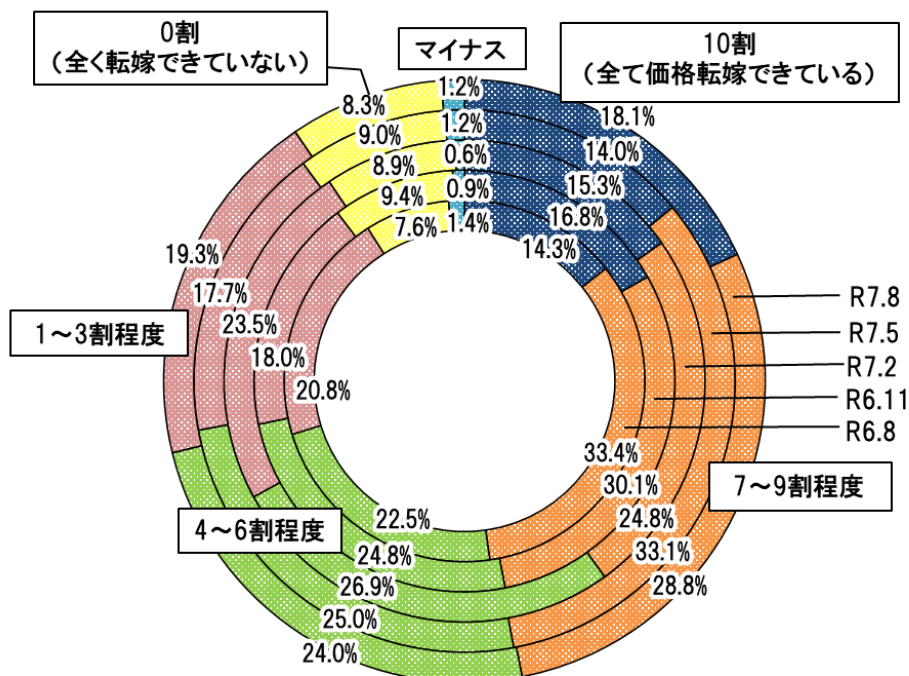
## 9. 付帯調査

### 1. コスト上昇分の価格交渉(相談)、価格転嫁について

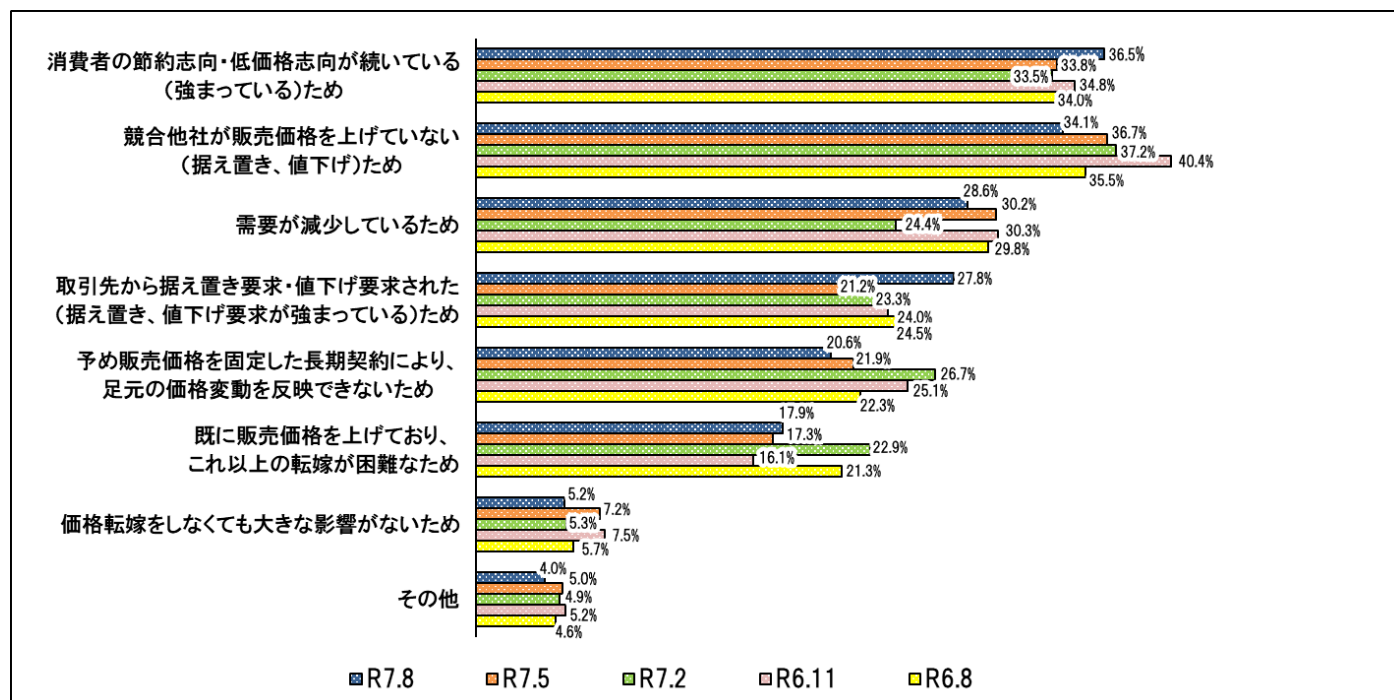
#### (1) 発注側企業と十分に価格交渉(相談)ができているかについて【択一】



#### (2) コスト高騰に対してどのくらい価格転嫁ができているかについて【択一】

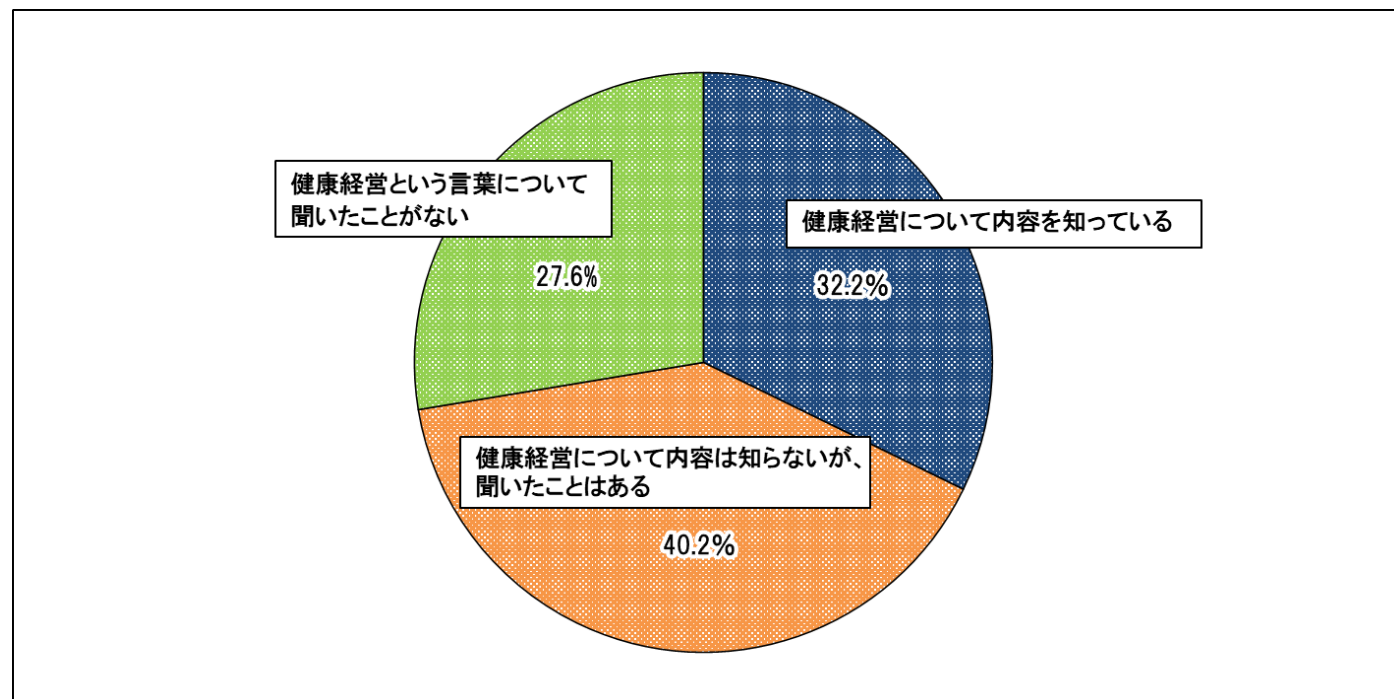


(3)「設問(2)」で「10割(全て価格転嫁できている)」以外の回答をした企業に伺った。  
価格転嫁が十分にできていない理由について【複数回答】



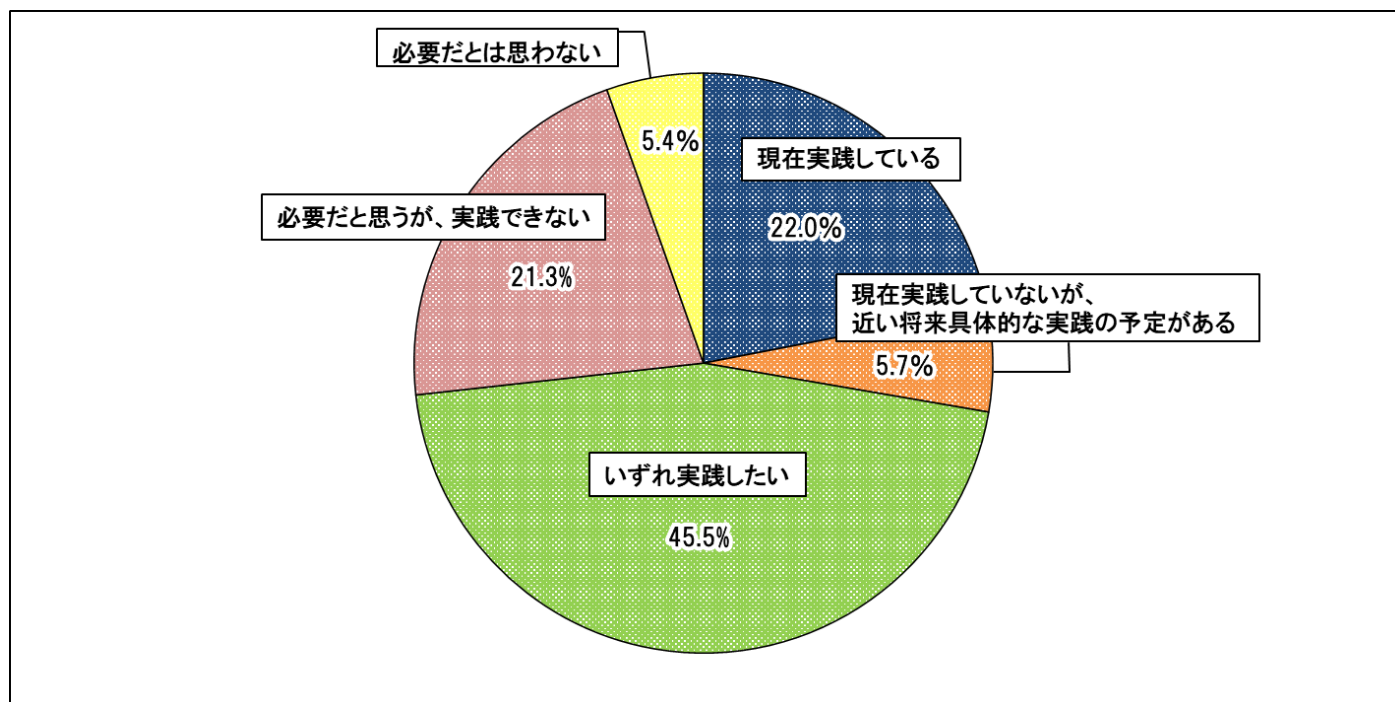
## 2. 健康経営について

### (1)「健康経営」という言葉の認知度について【択一】

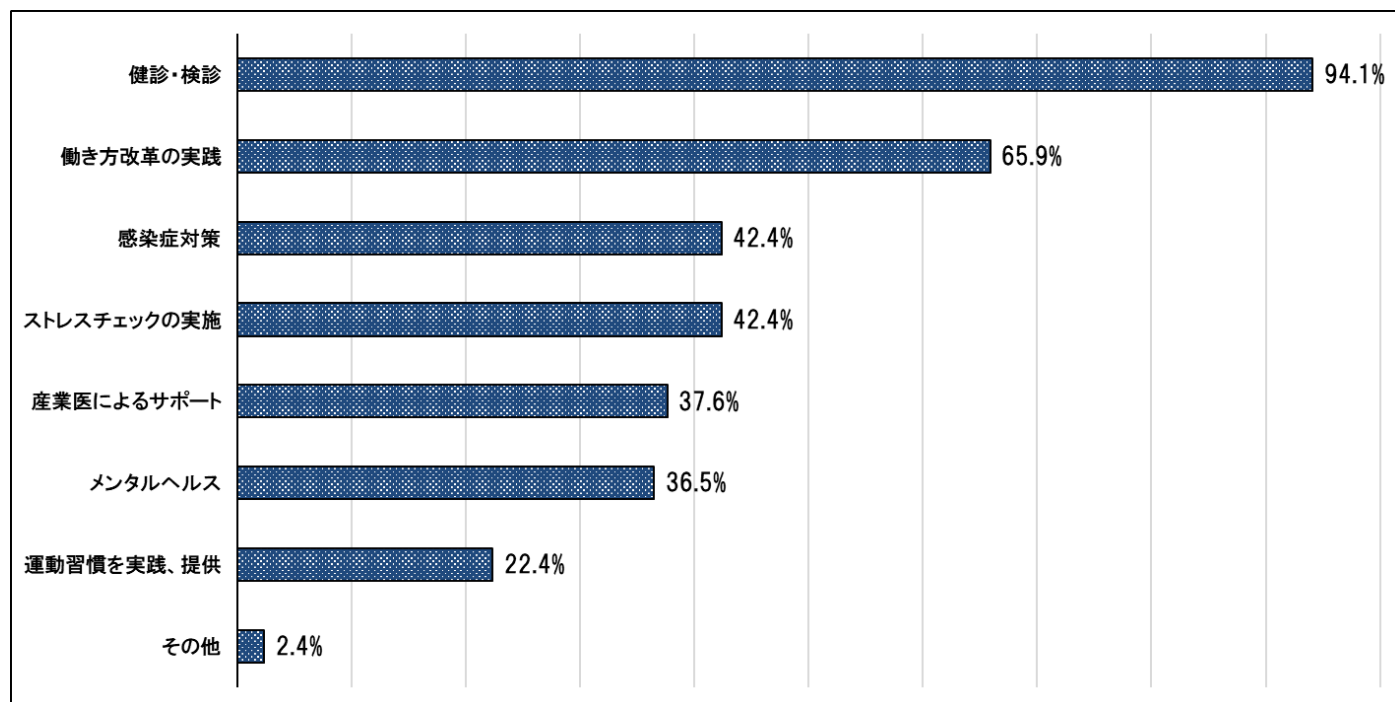




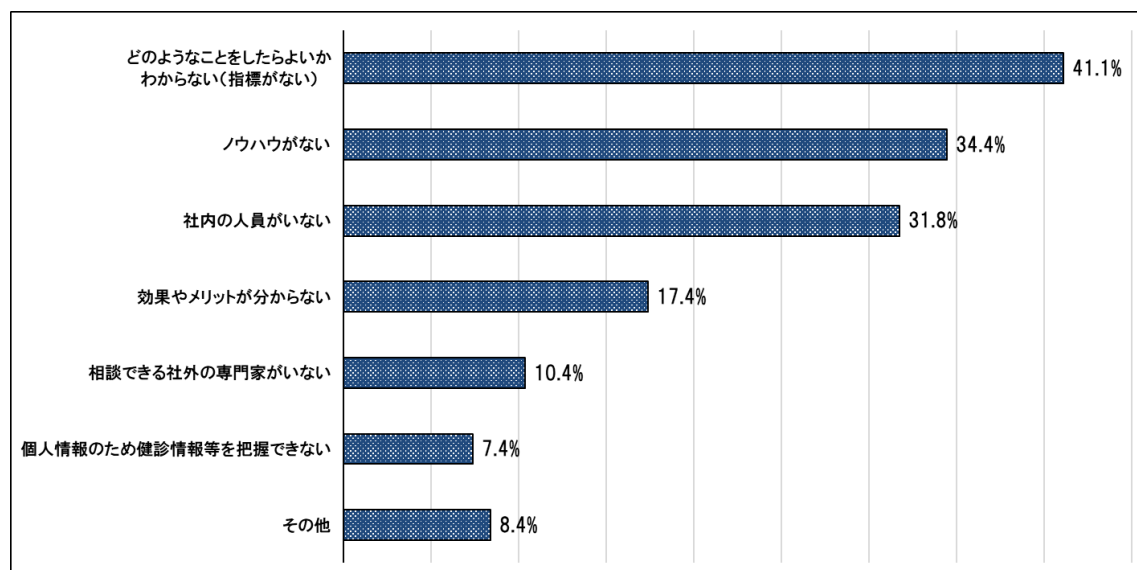
(2)「健康経営」を実践してみたいかどうかについて【択一】



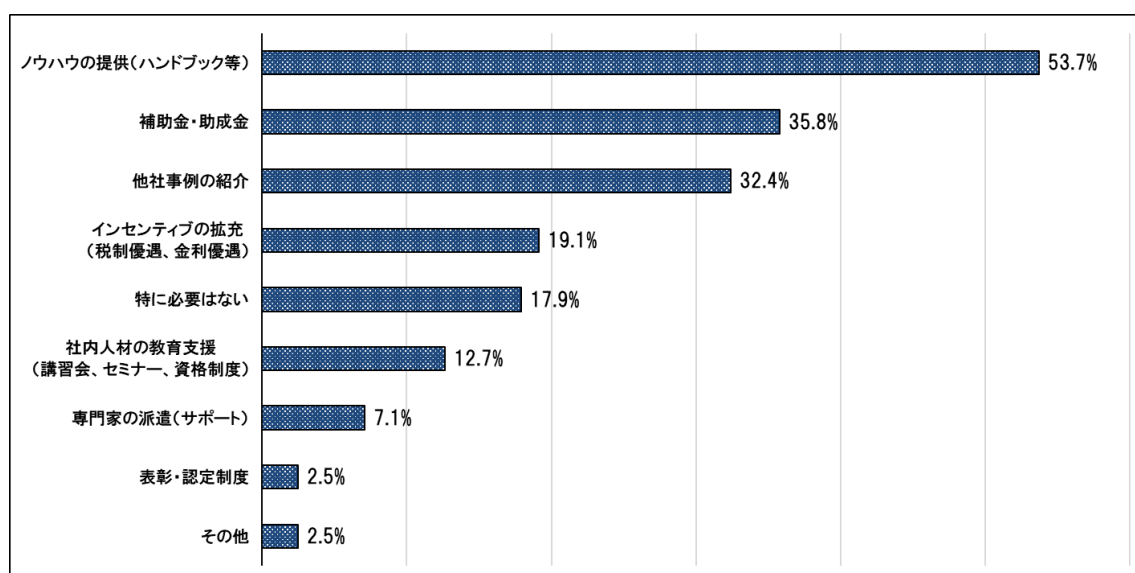
(3)「設問(2)」で「現在実践している」、「現在実践していないが、近い将来具体的な実践の予定がある」と回答した企業に伺った。「健康経営」で実践している(実践の予定がある)具体的な取組みについて【複数回答】



#### (4)健康経営を実践するにあたり、課題になる(なっている)ものについて【複数回答】



#### (5)健康経営を実践するにあたり、必要だと思う支援について【複数回答】



#### (6)自社が健康経営に取り組むにあたり、その効果として魅力に感じるものについて【複数回答】

